

基本指針の変更（案）のポイント（玄米ベース）

【前回(令和8年7月28日)】

【令和7/8年の主食用米等の需給実績(玄米ベース)】<速報値>

万玄米トン

令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量	A	155
	令和7年産主食用米等生産量	B=C+D	747
	うち生産者ふり目幅以上	C	718
	うち生産者ふり目幅未満のうち、主食用への供給見込量	D	29
	令和7/8年政府備蓄米供給量	E	23
	令和7/8年主食用米等供給量計	F=A+B+E	925
	令和7/8年主食用米等需要量	G	683
	令和8年6月末民間在庫量	H=F-G	243

作付意向調査(令和8年6月末時点)を踏まえた見通し

【令和8/9年の主食用米等の需給見通し(玄米ベース)】

令和8/9年	令和8年6月末民間在庫量	H	243	243
	令和8年産主食用米等生産量※1	I	711	732
	令和8/9年主食用米等供給量計	J=H+I	954	974
	令和8/9年主食用米等需要量	K	693~711	693~711
	令和9年6月末民間在庫量※3	L=J-K	242~260	263~281

※1 事前契約による令和8年産備蓄米の政府買入契約数量は21万玄米トン。これは、上記の令和8年産主食用米等生産量には含まれていない。

※2 政府備蓄米の売渡し(全体で59万玄米トン)に係る買戻し及び買入れは、供給不足が生じる見込みが低い環境下で行うことが必要であることから、令和8年産米の作柄を含め、今後の需給状況等を見定めた上で、時期・数量を判断。その上で、基本指針第3の1(1)②の備蓄期間が経過している備蓄米(令和2年産米)の販売に向けて準備。

※3 上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、基本指針第4の2のSBS方式や枠外の民間輸入(令和7年度:約11万実トン)による輸入米は含まれていない。

※4 上記の需給見通しについては、今後の生産量や需要量の変動の把握に努め、必要に応じて柔軟に見直す。

【今回(令和8年9月2日)】

【令和7/8年の主食用米等の需給実績(玄米ベース)】<速報値>

万玄米トン

令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量	A	155
	令和7年産主食用米等生産量	B=C+D	747
	うち生産者ふり目幅以上	C	718
	うち生産者ふり目幅未満のうち、主食用への供給見込量	D	29
	令和7/8年政府備蓄米供給量	E	23
	令和7/8年主食用米等供給量計	F=A+B+E	925
	令和7/8年主食用米等需要量	G	683
	令和8年6月末民間在庫量	H=F-G	243

【参考】
・長期計画的な販売支援(32万トン)
・民間備蓄実証事業(6万トン)

長期計画販売 実証事業

※38 32 6

今回の政府備蓄米の買戻し(21万玄米トン)を踏まえた需給見通し

【令和8/9年の主食用米等の需給見通し(玄米ベース)】

令和8/9年	令和8年6月末民間在庫量	H	243	243
	令和8年産主食用米等生産量※1※2	I	最小値 中央値 最大値 735~745~754	最小値 中央値 最大値 735~745~754
	令和8/9年主食用米等供給量計	J=H+I	978~988~997	978~988~997
	令和8/9年主食用米等需要量	K	693~711	693~711
	政府備蓄米の買戻し	L	-	21※3
	令和9年6月末民間在庫量※4	M=J-K-L	267~285~304	246~264~283

長期計画販売 実証事業

※38 32 6

※1 事前契約による令和8年産備蓄米の政府買入契約数量は21万玄米トン。これは、上記の令和8年産主食用米等生産量には含まれていない。

※2 令和8年産主食用米等の生産量については、令和8年6月末時点の水田における作付意向や10a当たり平均収量(5中3平均)、8月15日現在における10a当たり収量の平均比見込みを考慮して、幅をもって設定したもの。8月20日までの営農計画書等の変更を踏まえた水田における作付面積や作物統計の調査結果により今後変更される見込み。

※3 政府備蓄米の売渡し(全体で59万玄米トン)に係る備蓄水準の回復は、供給不足になる状況避けつつ、適正水準に向けて着実に回復を図る観点から、令和9/10年以降も含め、今後、計画的に実施。急激な需給変動を避けるとともに、政府備蓄米の年産構成の適正化を図る観点も踏まえ、令和7年産米21万玄米トン(昨年度買入れを中止した数量に相当)の買戻しを進めるとともに、引き続き、今後の需給状況等を見定めた上で対応。また、今後順次、基本指針第3の1(1)②の備蓄期間が経過している備蓄米を飼料用等の非主食用に販売。

※4 上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、基本指針第4の2のSBS方式や枠外の民間輸入(令和7年度:約11万実トン)による輸入米は含まれていない。

※5 上記の需給見通しについては、今後の生産量や需要量の変動の把握に努め、必要に応じて柔軟に見直す。